

福井県身体障害者福祉連合会報

2019年1月

No.72

編集・発行

一般社団法人 福井県身体障害者福祉連合会
E-mail fod@fki.fitweb.or.jp

福井県障害者社会参加推進センター
E-mail fsc@fki.fitweb.or.jp

〒910-0026

福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉センター内
TEL 0776-27-1632 FAX 0776-25-0267

ホームページ

<http://www.normanet.ne.jp/~fukui/>

新春を迎えて

一般社団法人 福井県身体障害者福祉連合会

会長 山崎 俊太郎

謹んで新年のご挨拶を
申し上げます。

皆さまにおかれまして
は、希望に満ちた輝かし
い新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

さて、昨年は、全国初の融合を掲げた「福井し
あわせ元気」国体・障スポは、おもてなしの心で
交流を深めた皆さんの感動を与えたすばらしい大
会となりました。共生社会の第一歩に繋がってい
くものと願っております。

また、オープンゲートボール競技会では、行政、
ゲートボール協会、実行委員等、多くの関係者の
方々のご支援とご協力をいただき、無事、成功裡
に終えることができました。

当連合会としても、今まで以上に役員と会員が
一丸となり、会の運営ならびに事業の推進に邁進
しなければならぬと気持ちを新たにしている
ところです。

本年も、会員の皆さまのより一層のご理解とご
支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、
皆さまのますますのご健勝とご多幸をご祈念いた
しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

一般社団法人

福井県身体障害者福祉連合会

会長 山崎 俊太郎

副会長 吉村 春男

” 小山 尊

” 丸山 継男

理事 一同



第64回 福井県身体障害者福祉大会

盛大に開催される

11月25日(日)ハートピア春江にて、第64回福井県身体障害者福祉大会が多くの来賓ご臨席のもと、県内各地から会員や関係者約470名が参加し、盛大に開催されました。

参加者一同、多様なニーズに応えられる防災・減災対策を含め、障害当事者の視点で防災についても考えていくことで、一致団結することを誓いました。

第一部式典では、自ら障害を克服し自立更生された方や、更生援護に尽力された方々に対する表彰式が行われ、知事表彰受賞者16名の方々には西川知事より、福井県身体障害者福祉連合会長表彰受賞者24名の方々には、山崎会長よりそれぞれ賞状と記念品が授与されました。

第二部記念ステージでは、「音楽で咲かそう!共生の花」のテーマで福井県警察音楽隊による演奏や寸劇、軽妙でコミカルなダンスを披露していただきました。第三部議事においては、共生社会条例等の県民への周知啓発の推進を含め、三項目の大会決議が満場一致で採択され、来年度開催地の福井市に大会旗が引き継がれました。

なお、受賞された方々は次の皆さんです。心よりお祝い申し上げます。

福井県知事表彰 16名

自立更生者

敦賀市	井阪 正治郎
敦賀市	伊吹 篤志
あわら市	竹内 正和
永平寺町	長谷川 佑加

更生援護功労者

福井市	田中 俊彦
福井市	野崎 諭
鯖江市	齊藤 文和
あわら市	竹田 栄治
越前市	石本 峰夫
永平寺町	江守 弥市
南越前町	井上 正幸
南越前町	高木 茂樹
越前町	杉森 則夫
越前町	中川 三喜男
高浜町	梅垣 幸雄
おおい町	柳原 幸江



福井県身体障害者福祉連合会長表彰 24名

自立更生者

敦賀市	岡本 孝雄
敦賀市	橋本 貴美子
小浜市	長谷川 竜也
大野市	伊東 廣美
あわら市	町田 稚紀
坂井市	出雲 あさ子
若狭町	深川 俊二

更生援護功労者

福井市	齊藤 進
福井市	三上 貫一
敦賀市	大岸 美智子
大野市	柳原 若松
勝山市	清水 ひな子
鯖江市	丸山 継男
あわら市	炭谷 一男
坂井市	土木 小夜子
永平寺町	天谷 元信
永平寺町	前川 勇
越前町	佐々木こはる
越前町	細川 一男
美浜町	中嶋 まさ子
おおい町	江崎 英二
若狭町	河原 利明

感謝状 (株)ショッピングシティ・ベル 福井本丸ライオンズクラブ

大会決議

- 一、福井県共生社会条例・障害者差別解消法の周知啓発を推進しよう
- 一、災害時における情報伝達や避難誘導について、自治体での対策を確立しよう
- 一、地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう 以上決議する。

平成30年11月25日 第64回 福井県身体障害者福祉大会



障害者相談員研修会

平成30年12月16日(日)福井県国際交流会館にて、各市町から委嘱されている障害者相談員を対象とした研修会を開催しました。今回の研修は「支援者に求められるコミュニケーション力とは」～アサーティブを学ぼう!～と題して、アサーティブネストレーナーの中野満知子氏にご講演をいただきました。

相談員として、自分の思いを一方向的に伝えるのではなく、抱え込むのではなく、自分も相手も尊重した上で、誠実に、率直に、対等に自分の要望や意見を相手に伝えるコミュニケーションが大切であるという研修内容でしたが、実技と講義を交互に取り入れながらの有意義な研修となりました。

大きなハートの輪が広がった

第19回 福井県障がい者

ハートフル文化祭



スペシャルステージでは、手話ダンスが感動的でした!



ご来賓の方々のテープカットで幕開けしました!



「喜心」の元気の良い和太鼓演奏。

「第19回福井県障がい者ハートフル文化祭」が12月8日(土)～9日(日)の2日間ショッピングシティベル「あじさいホール」にて開催されました。

今回は、国体・障スポ文化プログラム事業の一環としての開催でもありましたが、この文化祭は、芸術文化活動を通して障害者の自立と社会参加を促進するとともに県民の理解を深めようと、県障害者社会参加推進センターが障害者週間(12月3日～9日)に合わせて毎年開催しています。

今回のスペシャルステージでは、誰もが音楽を楽しむことができるライブやイベントを目標に活動をされている聴覚障害のサインフォーマー KAZUKIさんと肢体障害者のユニットによるボーカル&演奏、子供たちによる手話ダンスのコラボで「栄光の架け橋」を披露しました。感動的で大変好評でした。



また、作品展は、絵画や書道、写真、手工芸などの心温まる作品が過去最多の340点展示され、「希望の一本桜」の大作がひとときわ華を添えていました。即売会では障害者施設や特別支援学校などで作った焼菓子や陶芸品などを買い求める人で賑わい、今年も温かなハートの輪が大きく大きく広がった文化祭となりました!!



ハートフルな作品が今年も華やかに彩っていました。



初出場のミュージック・ケアは会場が一体となっていました!



芸術的な書に感動!



男性合唱団の歌声に癒されました!

